



2024年12月27日

各位

会社名 株式会社三陽商会  
代表者名 代表取締役社長 兼 社長執行役員  
大江 伸治  
(コード：8011 東証プライム)  
問合せ先 経営統轄本部 IR・広報戦略部長  
谷内 祥宏  
(TEL: 03-6380-5623)

## 投資有価証券売却に伴う特別利益計上見込み及び 通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、2025年2月期において当該投資有価証券売却益を特別利益として計上する見込みとなりましたので、下記の通りお知らせ致します。また、2025年2月期の通期業績予想及び配当予想についても、それぞれ下記の通り修正しますので、併せてお知らせ致します。

### 記

#### 1. 投資有価証券売却に伴う特別利益計上見込み

- 売却理由：保有資産の効率化の一環として、政策保有株式の縮減方針に則って実施するもの
- 売却する投資有価証券：当社保有の上場有価証券1銘柄の一部
- 売却時期：2025年1月～2月
- 売却益（見込み）：1,890百万円
- 今後の見通し：上記の投資有価証券売却益は2025年2月期連結決算に特別利益として計上する予定です。尚、投資有価証券売却益が確定し、適時開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。

(注) 上記の投資有価証券売却益は、現在の当該有価証券の株価等から算出した見込額であり、今後の株価推移、経済情勢及び市場動向等による不確実性を含んでおります。

#### 2. 通期業績予想の修正

##### (1) 2025年2月期通期連結業績予想数値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 62,500	百万円 3,300	百万円 3,400	百万円 3,100	円 銭 265.64
今回修正予想（B）	61,000	2,700	2,800	4,000	350.86
増減額（B－A）	△1,500	△600	△600	900	
増減率（％）	△2.4	△18.2	△17.6	29.0	
（参考）前期実績 （2024年2月期）	61,353	3,047	3,184	2,787	238.96

## (2) 修正の理由

(i)保有する投資有価証券の一部売却による特別利益の計上見込み、(ii)本日公表した 2025 年 2 月期第 3 四半期決算結果及び第 4 四半期の見通し等を踏まえ、前回発表の通期業績予想を修正するものであります。

上記(ii)の 2025 年 2 月期第 3 四半期決算及び第 4 四半期の見通しにつきまして、第 3 四半期においては、記録的な高気温の影響により秋冬物の初動が大幅に遅れ、特に例年の商戦の山場となる 10 月の不振の影響が大きく、売上高・営業利益は共に計画を大きく下回る結果となりました。第 4 四半期の売上動向は、気温の低下に伴い、持ち直しているものの、第 3 四半期の落ち込み分を 100%挽回することは困難であるとの見通しから、通期の売上高・営業利益・経常利益の予想をそれぞれ修正するものです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記(i)の理由から予想を修正致します。

## 3. 配当予想の修正

### (1) 配当予想

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
前回予想	円 銭	円 銭 125.00	円 銭 125.00
今回修正予想		129.00	129.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2024 年 2 月期)	0.00	88.00	88.00

## (2) 修正の理由

当社は、株主還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、財務体質の強化及び新規ブランドの開発、情報システムの整備等に必要なる内部留保の水準等を総合的に勘案の上、継続的な安定配当を実施することを基本方針としております。2025 年 2 月期の株主還元目標は DOE（株主資本配当率）4%としております。

今般、(i)保有する投資有価証券の一部売却による特別利益の計上見込み、(ii)本日公表した 2025 年 2 月期第 3 四半期決算結果及び第 4 四半期の見通し、(iii)2024 年 10 月 4 日に公表した「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」の記載事項に基づき進行中である自己株式の取得に伴う影響の最新見通し等を踏まえ、DOE 4%の計算を改めて行った結果、2025 年 2 月期の期末配当予想を 1 株当たり 125 円から 4 円増配の 129 円に修正するものです。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上